

令和4年7月1日

関係学校長 様

群馬県柔道連盟
会長 鳥居 吉 二

令和4年度 群馬県柔道連盟主催高校強化選手選考会の開催について

平素から当連盟の行事にご理解ご協力をいただきまして誠に有り難うございます。
標記の件につきまして、下記のとおり開催致しますので貴校生徒の参加についてご高配をお願いいたします。

記

- 1 目 的 強化選手を早めに選考し、群馬県の代表として自覚させその後の強化活動を充実させる。
- 2 日 時 令和4年8月27日(土) 10時30分 開会式 10時 審判・監督会議
- 3 時 程
 - (1) 駐車場に関しては、弓道場横の砂利の駐車場に駐車すること。
 - (2) 県柔道連盟強化部員8時50分武道館一階正面入口に集合、各自業務開始。
 - (3) 9時に1階正面入口より学校ごとに監督・選手共に健康状態申告書で確認(別紙2枚を提出)。
 - (4) 下足は各自準備したビニール袋に入れて、手指消毒・検温を実施し、監督は参加料1,000円を納める。
 - (5) 着席するときは、間隔を1席あけ、選手は試合前後に必ず消毒をする。試合以外は、マスクを着用する。
- 4 会 場 ALSOKぐんま武道館 第一道場 前橋市関根町800 TEL027-234-5555
- 5 参加資格
 - (1) 2006年(平成18年)4月2日以降の生まれで、初段以上の者。
 - (2) 男子は1校1階級4名以内とする。
 - (3) 女子は人数制限を設けない。
- 6 体重区分 男子:60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級の7階級
女子:48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7階級
- 7 新型コロナウイルス対策
本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じると共に、細部については各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
なお、入場時の健康状態申告書(ALSOKぐんま総合スポーツセンター作成)を必ず提出し、当日の検温についても実施する。
現在、警戒度が下がったことに伴い、選手1名に対し1名の観客を入場可とする。
その際は、監督・コーチの健康状態申告書を入場時に受付に提出する。
しかし、警戒度が上がったときは無観客試合にすることもある。その時は群柔連HP上で知らせる。
- 8 大会中止・延期条件
群馬県教育委員会等からの要請があった場合や群馬県柔道連盟が群馬県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他、全日本柔道連盟「新型コロナウイルスへの対応について」(資料1)段階的練習再開・試合再開 P24「4.試合上の留意点」を参考に決定する。
- 9 競技方法
 - (1) 試合は最新の国際柔道連盟試合審判規定とする。試合時間は3分間とする。
 - (2) 勝敗の判定基準は「一本」「技有り」「僅差」とする。(僅差は指導差2とする。)
 - (3) 技による評価がない、又は同等の場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - (4) 男女ともに3・4位決定戦を行う。
- 10 服 装
 - (1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した新規格の柔道衣(上衣、下穿、帯)の使用を適用する。
 - (2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。
 - ① 布地は白色(晒太綾)で、サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。
 - ② 苗字を上部2/3、所属を下部1/3にゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
 - ③ 縫い付けの場所は、後ろ襟から5～10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。

- 11 計量時間 9時20分～ 9時50分(30分間) 男子:柔道場東側 女子:医務室
計量については、時間内であれば、何度計量しても良い。
- 12 表彰 表彰式は行わず、試合終了後に強化選手の選考会議を実施し、その後、アナウンスする。
- 13 組合せ 令和4年8月18日(木)12時よりALSOKぐんま武道館において県柔道連盟強化部員で行う。
- 14 参加料 当日9時～9時30分(30分間)に1名1,000円を収集する。
- 15 参加申込・問い合わせ先
所定の申込用紙に必要事項を記入の上、令和4年8月12日(金)までに下記宛に郵送とEメールにて申し込む。
〒370-3524 高崎市中泉町654-9 黒田圭一宛
Eメールアドレス: gunmajudo@gmail.com 黒田携帯:090-3098-6302
- 16 その他
- (1) 群馬県柔道連盟の強化練習会・高体連柔道専門部の年間計画に基づくリーダー養成研修会に参加出来ることを条件とする。以後の活動状況を強化部で検討し、強化選手を入れ替える場合もある。
 - (2) 今年度の全国高等学校柔道大会(インターハイ)に個人戦で出場した者は、選考会を免除し、該当の階級で強化選手の1位とする。
男子:100kg超級:芹澤 泰弥(常磐2)1名
女子:57kg級:トーレス カミラ(常磐2)70kg級:栗原 あづ(育英1)78kg級:関口 栞(育英1)
78kg超級:寶条 まり(常磐2)4名
 - (3) 試合後の選考会議にて強化選手を決定する。基本的に男女とも各階級上位2～3名を強化選手とする
また、レベルの高い階級は推薦され、強化選手となる場合もある。
 - (4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - (5) 貴重品の管理は各自で行うこと。
 - (6) 下足箱の使用は禁止のため、各自下足用のビニール袋等の準備をしておくこと。
 - (7) ゴミ箱の設置がないため、各自持ち帰る。
 - (8) 声を出しての応援は禁止する。(拍手は可)